

◆福岡県の経済振興について

福岡県の経済は、経済指標も全国を上回り、緩やかに拡大をしていると言われておりますけれども、海外経済の減速の影響を受けて予断を許さないところであります。福岡県が、日本一住みやすく元気な町になるための要素は多々あると思いますが、まずは、経済が元気でなければならないと思っております。活力ある経済活動を支える一つの大きな要素は町のにぎわいであり、そのためには、ビジネスや観光で福岡を訪れる人がさらに増加していくための施策を講じていくことが重要であろうと考え、質問をいたしました。

Q

1. ラグビーワールドカップへの取り組み

ラグビーワールドカップは、福岡県においても大変盛況な中で開催されました。この大会開催の開会を3か月後に控えた議会の一般質問で、大会を盛り上げていくための質問を行いました。

1-①各県と連携した周遊ルートの作成など、九州が一体となった取り組みの状況について聞く。

A

知事 昨年度は、九州全県でフランスへ出向き、旅行業者を対象とした商談会やイベントにおいて、九州および本県の食や自然、伝統文化の魅力を発信してきた。また、九州観光推進機構や開催地である熊本県、大分県と連携し、香港、豪州において九州の魅力をアピールしてきた。併せて、スポーツ専門メディアやラグビーワールドカップ2019の公認旅行会社の招請を行い、40本を超える旅行商品の造成につなげてきた。

今年度は、九州・山口地域の周遊を促進させるため、官民が一体となり、日本の代表的な文化である「祭り」を発信する「祭りアイランド九州」を計画している。具体的には、大会期間中の9月28日、29日に「博多祇園山笠」や「戸畑祇園大山笠」をはじめとする41の祭りが熊本に集結し競演する。また、大会期間中に九州・山口各地で開催される57の祭りを専用ウェブサイトでPRするとともに、各地を周遊してもらうため、国内外の旅行会社へ、これらの祭りを取り込んだ旅行商品の造成を働かせる。

Q

1-②ファンゾーンや街中のイベントなどで、大会を盛り上げるための具体的な取り組み予定について聞く。所有者不明土地による公共事業への支障について

A

知事 開幕100日前の今月12日に、県庁ロビーでコンサートを行ったほか、15日には福岡市役所前広場でラグビーイベントを実施した。また、福岡空港に巨大ラグビーボールやフォトパネルを設置するとともに、福岡市天神の商店街をバナーで装飾している。

また、7月からは、博多祇園山笠におけるラグビーを題材にした飾り山の展示や、ラグビー日本代表のテストマッチのパブリックビューイングを実施する。大会1か月前となる8月中旬からは、福岡空港や博多駅、天神の大型商業施設、渡辺通り、福岡空港駅から会場までの徒歩ルートなど、試合が開催される福岡市を中心に横断幕や街路灯バナー、パネル等で装飾し、大会開催まであとわずかという雰囲気作りと盛り上げを行ってまいり。

大会期間中には、福岡を訪れた方に楽しんでいただけるよう、ファンゾーンにおいてパブリックビューイングを実施するとともに、ラグビー体操や飲食ブース等を設ける。また、例年、この時期に天神中央公園で行われるフードエキスポや、福岡市役所前広場で行われるミュージックシティ天神といったイベントにおいても、ラグビーをPRする演出等を行っていただく。さらに、大会に向けて作成する飲食店マップに掲載する店舗では、ポスターの掲示、Tシャツの着用、ラグビーグッズの配布といった協力をいただくことにしている。

こうした取り組みにより、大会をしっかり盛り上げてまいり。

Q	<p>1-③今回のラグビーワールドカップのキャッチコピーは、「4年に一度じゃない、一生に一度だ。」である。福岡での大会を盛り上げ、成功させるための知事の決意を聞く。</p>
A	<p>知事 この大会の開催には、厳しい誘致の段階から、本当に多くの皆様にご尽力いただいております。その中には既に亡くなられた方もいます。大会が目前に迫り、いよいよという高揚感とともに、改めてこの大会開催にご尽力頂いた大勢の皆様の思いを、大会の成功に繋げていかなければならないという気持ちを新たにしている。大会まで残り3か月。大会の成功に向け、組織委員会をはじめ、関係の皆さんと最後までしっかりスクラムを組み、準備に万全を期してまいります。</p>
Q	<p>2. 世界のビジネス拠点を目指して アジアの入り口であり、九州を代表する立場にある福岡県が、国際都市として、そして世界のビジネス拠点として発展していくことは、福岡県のみならず、九州全体の発展に必要不可欠であるとの思いで質問を行いました。</p> <p>2-①福岡県は、ビジネス拠点として、世界でどの程度認知されているのか。また、福岡県は世界のビジネス拠点として、どの様な可能性があり、今後どのようなことに取り組んでいくのか。</p>
A	<p>知事 本県には、4つの自動車メーカーの生産工場や自動車関連企業560社が立地しており、本県を中心とする北部九州は年間159万台というイギリス一國並みの生産能力を有する世界有数の自動車生産拠点到に成長した。</p> <p>また、県内には、産業用ロボットや自動車・航空機用タイヤで世界トップクラスのシェアを誇る企業など、優れた技術を有する企業が数多くある。海外からの企業立地も進んでおり、誘致件数はIT・半導体関連企業など、過去5年間で73社となっている。</p> <p>さらに、本県では、毎年海外からのバイヤーが集まる国際見本市・展示会が開催されており、国内最大級の食品国際商談会「フードエキスポ九州」では、平成26年に33社だった海外バイヤー数が、昨年、86社へと大きく増加した。県産酒を一堂に集めた「アンド・サケ・フクオカ」でも、昨年の5社から今年は18社に増えている。こうしたことから、ビジネス拠点としての福岡の世界での認知度は高まってきているものと考えている。</p> <p>県では、バイオ、ロボット、水素、有機EL、航空機といった先端成長産業の育成に取り組んでおり、例えば、バイオ分野の核酸医薬やゲノム編集、有機EL分野の革新的な発光材料など、世界が注目する技術も生まれてきている。</p> <p>県としては、福岡が世界的なビジネス拠点となるよう、今後、こうした技術を核にして産業の集積を一層高め、自動車に次ぐ世界的な産業拠点の構築に積極的に取り組むとともに、引き続き、海外企業の誘致や国際見本市・展示会の開催を図ってまいります。</p>
Q	<p>3. ベンチャー企業の育成 福岡県が世界のビジネス拠点として認知され、福岡県の経済が今後さらに発展していくためにも、福岡県に多くの起業家が誕生し、新しい技術や発想で新たな事業が育っていくことが大変重要であるとの思いで質問を行った。</p> <p>3-①ベンチャー企業をはじめ、新たな事業を育てていくための制度や支援策について、これまで県はどの様な取り組みを行ってきたのか。また、どの様な成果につながったのか。</p>

A	<p>知事 県ではこれまで、フクオカベンチャーマーケットにおけるビジネスプランの策定や資金調達などの支援、工業技術センターによる技術開発の支援、低利の県制度融資「新規創業資金」による支援、さらにはバイオ、先端半導体分野等のインキュベーション施設の提供などにより、ベンチャーの支援を行ってきた。これらの取組みにより、例えば、バイオ分野では、難病の治療薬として期待される核酸医薬に関する独自技術を持つ企業など225社の、また、半導体分野では、次世代IoT無線通信の優れた技術を有し、急成長を遂げる企業など255社のベンチャー企業がそれぞれ集積したところである。</p>
Q	<p>3-②今後は、IoT、AI、5Gなどの利用が進み、社会の仕組みや仕事の在り方も大きく変化することが予想される。科学技術が加速度的に進歩し、ビジネス環境が大きく変化していくなかで、ベンチャー企業や新たな事業が生まれ、育ち、その中から世界に認められるような企業へと成長していくためには、支援していく側としても、新たな観点で取り組んでいくことが求められていると思う。 県の今後の取組みについて聞く。</p>
A	<p>知事 今後、IoT、AIなど先端技術分野については、更なる成長が見込まれる。県では、次世代通信技術等に対する研究開発支援や、IoTやAI技術をテーマとした技術者育成に努めており、本県発の技術による新製品も相次いでいる。今年度からは、こうした優れた製品・サービスをPRする「福岡県IoT認定制度」を創出して、その販路の拡大を支援したいと考えている。これらの取組みにより、先端技術分野において、ベンチャー企業が次々と生まれ育っていく好循環を生み出している。</p>
Q	<p>4. MICEへの取組み 企業等の会議、企業等が行う・研修旅行、国際機関・団体・学会等が行う国際会議、展示会・見本市・イベントなどビジネスイベントの総称であるMICEへの取組みについて質問を行った。</p> <p>4-①MICEは、一般的な観光と異なる国内外からの誘客につながり、経済効果も大変大きなものがあると思われる。知事は、MICEに対して、今後どのように取り組んでいくのか。</p>
A	<p>知事 県内では、国際会議が毎年数多く開催されており、その件数は、平成26年以降4年連続で東京都に次いで全国2位。例えば、近年では、①昨年5月に福岡市で開催された「第16回アジア太平洋地域ITSフォーラム」、②今年4月に福岡市で開催された「RubyKaigi(ルビーカイギ)2019」、③「ラグビーワールドカップ2019」の福岡開催や、「ワールドラグビー女子セブンズシリーズ北九州大会」について、主催者団体等関係者に対する誘致の働きかけを行った。</p> <p>また、今月、福岡市で開催された「G20福岡財務大臣・中央銀行総裁会議」では、観光、食、農林水産物などの本県の魅力発信のほか、会議の安全かつ円滑な運営に不可欠な警備面での支援を行った。</p> <p>さらに、MICE開催に際しては、会議出席者や同行者に多言語の観光パンフレットを提供し、県内各地への周遊を促すとともに、会場での県産品の展示・販売などに取り組んでいる。</p> <p>県としては、今後とも、MICEの誘致や開催支援、MICEを契機とした観光振興に積極的に取り組んでまいります。</p>

<p style="text-align: center;">Q</p>	<p>5. 福岡と欧米を結ぶ直行便 福岡空港は、滑走路の増設、誘導路の整備、ターミナルビルの改築、民間による経営など、大きく様変わります。長期滞在型、回遊型の観光客、あるいはMICEへの誘客を増やし、ビジネス拠点として福岡が発展していくためには、福岡空港と欧米を結ぶ直行便就航により、アジア以外からの来訪者を増やしていくことについて質問を行いました。</p> <p>5-①知事は欧米との直行便の意義、誘致に向けた取り組みについてどの様に考えておられるのか。欧米路線直行便の誘致に対する、県のこれまでの取り組みと今後の対応について聞く。</p>
<p style="text-align: center;">A</p>	<p>知事 福岡空港と欧米を結ぶ直行便については、本県のみならず、九州、西日本地域から欧米への渡航が容易になるとともに、欧米からの観光客誘致につながるなど、経済、観光、国際交流の活性化という観点から大変意義があると考えている。欧州との直行便については、現在、フィンエアーが夏ダイヤで就航しているところであり、まずはこれを通年運航とすべく、県として複数回にわたり同社の本社を訪問し、通年運航の実現を強く働きかけてきた。</p> <p>また、県が出資する福岡国際空港株式会社とは、欧州路線の通年化や米国路線の誘致を同社が積極的に取り組むことを確認し、同社のマスタープランや中期事業計画においてその旨が明記されたところである。現在、同社に設置されたエアライン誘致専任部署により、航空会社に対する営業活動が実施されている。</p> <p>県としては、今回のラグビーワールドカップに訪れる欧州などからの観戦客に対し、地域の魅力を発信し、リピーターの獲得に努めていくなど、観光、経済、国際交流といった分野において、路線誘致の実現に向けた環境整備に資する施策を進めていく。</p> <p>あわせて、福岡国際空港株式会社との意思疎通を図りながら、直行便の就航が期待できる航空会社への働きかけを行ってまいります。</p>